

第 124 期

事業報告書

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

ASAHI

旭精工株式会社

事 業 報 告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

2023年度における当社グループを取り巻く環境は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直りの動きがみられた一方、世界的な金融引締め政策や物価上昇などによる景気減速リスクといった先行き不透明な状況が続きました。また、足元では中国経済の停滞懸念、ウクライナや中東情勢の長期化などを背景として、国内外で需要の調整局面が継続しました。

このような経済環境下、当社グループはお客さまからのニーズを大切にさせて頂き、主力製品であるインサート軸受ユニット・クラッチブレーキ・直線運動機器等の新商品の開発、既存商品の改良や技術提案などに取り組んでまいりました。また、生産面では原材料、エネルギー価格の高止まりなど、厳しい状況の中、生産性向上を目指してまいりました。

その結果、当期連結売上高は125億64百万円(前期比6.8%の増収)となり、当期の単体売上高は84億49百万円(前期比4.1%の増収)となりました。

製品別売上高では、主力製品であるインサート軸受ユニットが99億28百万円(前期比9.5%の増収)、クラッチブレーキ、直線運動機器をはじめとする機械部品等は26億36百万円(前期比2.5%の減収)となり、売上高に占める構成比率は軸受ユニットが79.0%(前期77.0%)、機械部品等は21.0%(前期23.0%)となりました。利益においても、製造部門の原価低減、全部門での徹底した経費削減に努めた結果、連結経常利益は18億11百万円(前期15億21百万円)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は12億68百万円(前期10億52百万円)となりました。

(2) 今後の見通し(対処すべき課題)

今後の取り組みとしましては、物流の2024年問題、EUのPFAS規制案、温暖化対策(CO2削減)、循環型社会形成(リサイクルや廃棄物削減)などに取り組み、販売部門は「お客さま第一の」営業活動をおこない、製造部門は「100年ブランドへの挑戦」をスローガンに掲げ、品質の維持向上を図り、加えて、自動化・合理化により生産性を向上させてまいります。また、管理部門は9月から新しい基幹システムが本稼働する予定ですので、万全の体制でスタート出来ますよう取り組みをおこなってまいります。

そして、事業活動を通して、環境・社会などの課題に取り組み、持続的な企業成長と「100年企業」達成を目指してまいります。

どうか昨年度と変わらぬ皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(3) 設備投資および資金調達の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資は、生産設備の合理化のためのものであり、投資総額2億13百万円(建設仮勘定除く本勘定振替ベース)は、自己資金とリース契約で賄いました。

(4) 財産および損益の状況の推移

区 分	第 121 期 (令 2 . 4 . 1 から 令 3 . 3 . 31 まで)	第 122 期 (令 3 . 4 . 1 から 令 4 . 3 . 31 まで)	第 123 期 (令 4 . 4 . 1 から 令 5 . 3 . 31 まで)	第124期(当期) (令 5 . 4 . 1 から 令 6 . 3 . 31 まで)
売 上 高	9,521百万円	10,827百万円	11,767百万円	12,564百万円
経 常 利 益	915百万円	1,117百万円	1,521百万円	1,811百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	589百万円	885百万円	1,052百万円	1,268百万円
1株当たり当期純利益	99円19銭	148円81銭	177円19銭	213円53銭
総 資 産	12,358百万円	13,864百万円	15,158百万円	16,765百万円
純 資 産	8,998百万円	10,211百万円	11,614百万円	13,455百万円

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) 子会社の状況

① 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の出資比率	主 要 な 事 業 内 容
AMI BEARINGS, INC.	720千米ドル	100%	軸受ユニットおよびその部品の販売
三興商事株式会社	15百万円	100%	ベアリングおよび精機部品の販売

② 企業結合の成果

当期の連結売上高は125億64百万円となり前期と比べて7億96百万円の増収となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は12億68百万円となり前期と比べ2億15百万円の増益となりました。

(6) 主要な事業内容(令和6年3月31日現在)

当社の企業集団の事業は主に、インサート軸受ユニット、クラッチブレーキ、直線運動機器関連およびその他伝導部品等の製造販売を行っており、さらに各事業に関する研究・開発およびその他のサービス等の事業活動を展開しております。

連結貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	16,765,807	負 債 の 部	3,310,140
流 動 資 産	11,856,864	流 動 負 債	2,883,945
現金及び預金	3,211,384	買掛金	793,668
受取手形及び売掛金	1,921,066	電子記録債務	321,308
電子記録債権	321,829	短期借入金	876,000
棚卸資産	4,621,367	未払費用	262,324
有価証券	1,444,776	未払法人税等	217,196
その他	382,876	賞与引当金	172,030
貸倒引当金	△46,436	リース債務	44,762
固 定 資 産	4,908,942	その他	196,654
有 形 固 定 資 産	2,795,651	固 定 負 債	426,194
建物及び構築物	527,174	長期借入金	192,000
機械装置及び運搬具	475,208	退職給付に係る負債	81,794
土地	1,441,970	長期預り保証金	3,199
建設仮勘定	91,980	リース債務	135,917
リース資産	161,774	資産除去債務	9,666
その他	97,542	繰延税金負債	3,616
無 形 固 定 資 産	213,530	純 資 産 の 部	13,455,666
電話加入権	3,938	株 主 資 本	12,034,067
ソフトウェア	6,938	資本金	660,000
ソフトウェア仮勘定	202,654	資本剰余金	557,792
投資その他の資産	1,899,760	利益剰余金	10,836,962
投資有価証券	1,422,770	自己株式	△20,687
差入保証金	43,402	その他の包括利益累計額	1,421,598
繰延税金資産	335,131	その他有価証券評価差額金	190,195
退職給付に係る資産	2,493	為替換算調整勘定	1,231,402
その他	95,961		
資 産 合 計	16,765,807	負債及び純資産合計	16,765,807

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		12,564,733
売上原価		7,737,190
売上総利益		4,827,543
販売費及び一般管理費		3,211,615
営業利益		1,615,928
営業外収益		
受取利息及び配当金	95,150	
為替差益	62,216	
持分法による投資利益	30,885	
その他の	24,940	213,193
営業外費用		
支払利息	16,633	
その他の	766	17,400
経常利益		1,811,721
特別利益		
固定資産売却益	459	459
特別損失		
棚卸資産廃棄損	30,326	
固定資産廃棄損	965	
営業所移転費用	766	
環境対策費	484	32,542
税金等調整前当期純利益		1,779,639
法人税・住民税及び事業税		544,159
法人税等調整額		△32,545
当期純利益		1,268,024
親会社株主に帰属する当期純利益		1,268,024

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。